

ふりがな 氏 名	よしだ たませ 吉田 玉勢 (文楽)
功績概要	昭和 63 年 国立劇場文楽第 13 期研修生として入所 平成 2 年 初代吉田玉男（人間国宝）に入門 国立文楽劇場で初舞台 平成 20 年 第 36 回文楽協会賞 平成 25 年 大阪文化祭賞グランプリ 平成 26 年 第 33 回国立劇場文楽賞奨励賞 令和 4 年 第 41 回国立劇場文楽賞奨励賞 姫路市の中学校を卒業後、研修生として国立劇場文楽の門をたたく。研修終了後は人間国宝の初代吉田玉男に師事。以後 30 年余り、大阪と東京の本公演に加え、地方巡業や海外での公演を重ね、研鑽を積んでいる。地方巡業である姫路開催の「人形浄瑠璃文楽」においては、入門後ほぼ毎回出演し姫路市民に文楽の魅力を伝えている。 近年では「主遣い」を公演でも務め、また若い層への広報活動にも積極的に参加するなど、ユネスコ無形文化遺産として世界的に注目を集める古典芸能の維持と普及に尽力している。伝統文化を継承する担い手として今後一層の活躍が期待できる。